

## はしか（麻しん）の流行について

全国各地ではしか（麻しん）の流行が見られています。はしか（麻しん）は感染力が強いため、十分な注意が必要です。以下の症状が見られる場合は、必ず医療機関に電話連絡をした上で早期に受診するとともに、本学学生係へも連絡してください。

### ○はしか（麻しん）の症状

- 感染後1～2週間で風邪（37.5℃以上の発熱、くしゃみ、鼻水など）に似た症状が出る
- 口の中（頬の内側など）に白い斑点が出る
- 熱は一度下がりかけるが再び高熱が出て、体に赤い発疹が出る（顔面から全身に広がる）

### ○対策

- はしか（麻しん）の抗体がないと考えられる場合は、予防接種を受けること。
- 上記のような症状が出た場合は必ず医療機関に電話連絡をし、受診の方法を確認してから受診すること。
- 学校保健法では解熱後3日間まで出席停止です。症状にもよるので、登校可能かは医師の指示に従うこと。
- はしか（麻しん）にかかった学生（かかったと疑われる学生も含む）は学生係へ連絡すること。

### ○はしか（麻しん）の抗体がないと考えられる場合

- はしか（麻しん）の予防接種を受けたことがない（母子手帳などで確認してください）
- はしか（麻しん）にかかったことがない
- はしか（麻しん）の予防接種を受けてから10年以上が経過している

### ○連絡先

TEL：025-239-3111（代表） E-mail：[gaku@nuis.ac.jp](mailto:gaku@nuis.ac.jp)

学務課 学生係

[2008年2月25日]